



NUTEC
SPECIAL SHOP
INTERVIEW

ワタシが

NUTEC

ワケ
を選ぶ理由

プロが語るオイル & ケミカル事情

第4回 | Big Bike Shop Beavis

Text & Photo/Kazuma Takagi 高城一磨

取材協力/ビッグバイクショップビーバス Phone 052-723-4081



自分が好きだから、 仲間にも教えてあげたい

好きなバイクとトコトン付き合う。生業としてバイクを扱うプロの中にも、
そんなアツい思いを持ち続ける人たちがいる。
ヤマハVMAXが常に傍らにあるビーバスは、そんなショップだ。



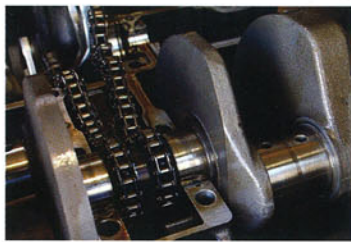
「今のバイクに比べれば、バイクパワーは大したことないけれど、それでも100psオーバーを発揮するし、低速からの加速はなかなか強烈です。街中で乗る人がほとんどだから、1〜2速で全開加速を楽しむパターンが多いのですが、ギャ比が低い分そのレンジは加速が鋭い。周りの交通を気にしながらになるから、シフト操作も雑になる。加えてカタいオイルの影響でクラッチがしっかり切れないまま変速すれば、ミッションも傷めや

ロングセラーモデルを多く輩出するヤマハの中でも、独自の世界観を創りあげたVMAX。そのオリジナリティに惚れ込んだ人は多く、使われ方も多種多様だ。85年に登場してから早22年。現在は逆輸入車のみとはいえ、それがいまだに新車で購入できるのだから凄い。20〜50代まで、新しい旧いを超え、分け隔てなくどの世代にも受け入れられている定番バイクではあるが、そのメカニズムを覗いてみれば、さすがにこちらは設計の旧さを隠せない。ツアラーモデルであるベンチャーロイヤル用をベースに熟成させてきた水冷V型4気筒は、発熱量が多く、オーナーの間ではエンジンオイルに厳しいことで知られている。

「そうですね、とくにVブリストを頻繁に使うとオイルを喰うようになります。だからつい、粘度がカタめのモノを入れがちになるんですけど、そうすると今度はスターターのワンウェイクラッチに負担がかかるようになる。あの時代にしては驚異的なパワーを持っていたバイクだから、過激な走りをするところか、どこかにしわ寄せが出ますよね」その辺りは時代を感じる、と言うのはビーバスの増山さん。VMAXが得意なショップとして、名古屋界隈では知られた存在だ。ビッグバイク全般を扱うが、VMAX色が強いのはやはり好きだから。自身、VMAX乗りとしてオーナー間のコミュニケーションに積極的に参加している。

派手にカスタムされたこのVMAXは、増山さんの奥さんの愛車。夫婦でカスタムVMAXに乗るという、傾倒振りである。ビーバスでは、女性のためのツーリンググループもある。





ニューテックでもち直したエンジン、その中身を見てみると……。

取材用にとバラしてもらったエンジンは、別のオイルを使っていたときに軽く抱きつき気味になり、調子の悪かったもの。開ける前にニューテックを試したところ、調子が戻ってしまい、しばらくそのまま乗り続けていたと言う。中身を見れば、ピストン上にはそれなりにカーボンが堆りオイルを焼いていた様子が見える。また、カムのジャー

ナル部分(ヘッド側を支える軸)やピストンスカート部分には軽くスジが入っていた。この辺りは異音の発生原因になりやすいところ。もともと入れていたオイルの時に付けた傷だと思われる。クランク周りはやはりメタルで支えるジャーナル部分に薄ら焼け跡があり、こちらはカムほど酷くはなかった、ミッションは問題ナシ。



増山さんが好んで使うニューテックアイテムは、オイルばかりではない。エンジン組み立て時にはMPグリスを、またケーブル類や摺動部分の潤滑にはオスモシルを利用。内から外から、VMAXを支えている。



VMAX以外も得意です

幹線道路から入った静かな住宅街にあるビーバス。雑多とした雰囲気ながら、プライベートガレージのような隠れ家的雰囲気を持つ。やはりビッグバイクが多いものの、中にはオフや原付を持ち込むお客さんも。優しい増山さんの人柄を慕い、幅広い客層が訪れる。独特の手書きの看板が目印だ。

- 営業時間:14時~深夜
- 定休日:無休
- 住所:愛知県名古屋市中種区竹越1-3-21
- 電話:052-723-4081
- URL:http://beavis.tv/



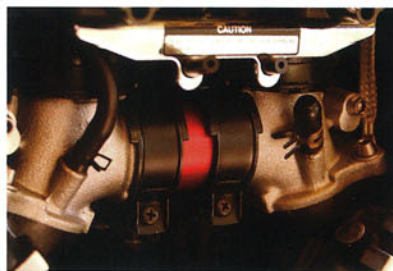
集まるのはVMAX好きだけではない。ビッグバイクは分け隔てなく扱う。写真左側のお客さんは現行Z1000のオーナー。ニューテックを使うキッカケも、この人がススメたことから。

すい。現にウチにやってくるミッションコンラブルの例は、1〜2速のドグやボスが傷んでいることが多いです」
それがニューテックのオイルを使い出してから、旧さを感じるエンジンをウマクバランスさせることができるようになってきたという。ニューテックのオイルは、流動性が高い(柔らかい)割りには油膜が強力なのが特徴。一般的には、流動性が高ければ、ピストンリングとシリンダー間など、クリアランスの大きいエンジンではオイルが燃焼室に吹き抜けてしまい、一緒に燃えることでオイル喰いが激しくなる傾向がある。それゆえ硬めのオイルを使うのだが、その弊害は先に述べたとおり。ところがニューテックはその吹き抜けが少なく、現にVMAXのエンジンオイルの消耗スピードがこれまでのもものモノに比べ落ちたという。

「一度軽く抱きついてしまったエンジンがあつて、バラす前に『試して使ってみようか』と、ニューテックを入れたんです。そしたらナント、それまで出ていた異音も収まり、調子持ち直してしまつた。今回バラしたエンジンがそれなんですけど、カムのジャーナル部分を見ると少しスジが着いているじゃないですか。そんな状態でも調子をカバすることに驚きました。コールドスタート時もオイル自体が硬すぎないためスターターに優しいし、今ではとくに指定がなければ、皆さんに使うようお勧めしています」
旧車と言ってもいい年代に設計されたエンジン。それをカバする、現代のエンジンオイル。最新技術を投入し最新線のレースにも使われるオイルながら、その守備範囲は類を見ない広さを持つ。クリアランスの緻密なハイテクモデルのみならず、ちょっと旧めのバイクにもジワリと人気が広まってきたのは、柔らかくても吹き抜けない、驚異の粘りがあるから。

「好きなバイクを長く乗りたいなら、自分でいろいろ試してデータを集めるのも手です。僕の場合はニューテック。VMAXにも安心して使えます」 (了)

パーツはお好みに応じて



VMAXライフを楽しむ上で、チューニングと並びドレスアップも欠かせない遊び方だ。ビーバスでは、フルタイムVブーストキットやアルミ製スイングアームピボットカバーなどオリジナルパーツをはじめ、オーリンズのVMAX専用フォークをテストするなど、多方向からアプローチする。社外パーツも積極的に扱い、自分好みの仕上りを目指した相談が可能だ。